

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年08月22日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	法学部
留学(渡航)した時の学年	4年生
帰国年月日	2024年08月19日
明治大学卒業予定年月	2024年03月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	UC バークレー(日本語名) 英語(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2024年05月～2024年08月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称:  <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8 月下旬～12 月下旬 2 学期: 1 月中旬～5 月上旬 3 学期: 5 月中旬～8 月上旬 4 学期: ～
学生数	42,327
創立年	1868

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (USドル)	日本円	備考
授業料	\$6,568	985,200 円	
宿舍費	\$6,460	969,000 円	
食費	0	0 円	寮で 3 食提供されるためなし
図書費	\$27	4,050 円	テキスト 2 冊
学用品費	0	0 円	
携帯・インターネット費	\$45	6,800 円	e-sim を日本で購入しました
現地交通費	0	0 円	( <input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	\$2,000	300,000 円	Los Angels や Las Vegas への旅行
被服費	\$60	9000 円	土産兼防寒着で、購入しました
医療費	0	0 円	
保険費	\$180	27,060 円	形態: 大学からの加入が義務付けられているため、その保険に事前に加入したため、USドルの記載なし
渡航旅費	\$2,000	312,917 円	帰りに他の国へ寄っているため、日本～アメリカ間のみの金額ではありません
ビザ申請費	\$160	24,000 円	
雑費	0	0 円	
その他	0	0 円	
その他	0	0 円	
合計	\$17,320	198,000 円	負担額はこの額から助成金の 100 万円を差し引いた額 \$1=¥150 で計算

## 渡航関連

<b>渡航経路</b>
<p>往路 出発地:HND 目的地:SFO 経由地:LAX</p> <p>復路 出発地:SFO 目的地:LHR 経由地:HND</p>
<b>渡航費用</b>
<p>① 往復チケットを購入した場合 航空会社:  料金:</p> <p>② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:American airline 料金:69,530  復路 航空会社:United Air line, United Ariline and Emirate Airline(LAX-LHE-HND) 料金:243,387 ∴合計:</p>
<b>航空券購入方法</b>
<p><input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: )</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:agoda)</p> <p><input type="checkbox"/> その他( )</p>
<b>滞在形態関連</b>
<b>1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍等)</b>
<p><input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:International House)    <input type="checkbox"/> アパート    <input type="checkbox"/> ホームステイ</p>
<b>2) 部屋の形態</b>
<p><input type="checkbox"/> 個室    <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 1 人)</p>
<b>3) 共有部分</b>
<p><input checked="" type="checkbox"/> バス    <input checked="" type="checkbox"/> トイレ    <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可    <input type="checkbox"/> 自炊不可)</p>
<b>4) 住居を探した方法:</b>
<p>昨年度の留学報告書を参照して、探しました。</p>
<b>5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)</b>
<p>I-House は世界中から、多くの留学生を迎え入れているため、多くの国の人と交流することができます。また、大学からとても近い位置にあるため、とても便利です。</p>

## 現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: )

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: )

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

大学から何か危険な事件などが起こると Warn me というメールが届くようになっているので、そのメールを確認していました。また、Gun shoot があつた際には I-house から緊急のメールが届くようになっていました。また、夜遅く(9時以降)は一人で外出するのをできるだけ避けるようにしていました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学には Wifi があるのでそれに接続していました。しかし、電波が弱かったり、つながらないことがあったりしたので、Wifi を接続しないで使っているときもありました。また、携帯に関しては日本で esim を事前に購入して、渡航しました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

渡航前に日本円を自分の口座に十分に移してから、渡航しました。ですが、アメリカで Bank Account を開設しておくことをお勧めします。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

基本的には現地でそろえることができるので、特別に持っていくものはあまりないと思います。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払い毎ました。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
10 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Leading people	
科目設置学部・研究科	Haas School of Business
履修期間	Session A
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	In person(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 150 分が 3 回
担当教授	Janet Brandy
授業内容	マネージャーなどが人をどのように接することで組織にどのような影響を与えるのかということなどを学びます。また、授業の最後には 10 分のグループプレゼンテーションがあります。内容は実際にある組織のマネージャーなど二人以上にインタビューをして、どのように組織を動かしているのかなどを発表します。
試験・課題等	Grading Class Participation 10% Case Analysis 15% Midterm 20% (Multiple Choice) Group Presentaion 15% Group Project Write-up 15% Final 20% (Multiple Choice) RPP 5%
感想を自由記入	この授業ではプレゼンテーションがあり、それが一番大変でした。誰にインタビューするのかということから、自分たちで決めなくてはならず、アポイントのメールなども送ったりしました。私たちのグループはどこにインタビューするかがなかなか決まらなかったのがより大変でしたが、結果として良い評価を得ることができました。成績の評価ポイントが多くあるので、コツコツやることで単位は割と簡単に取ることができると思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Critical Issues in Global Studies	グローバルスタディにおける重要な課題
科目設置学部・研究科	
履修期間	Session D
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	In person(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が3回
担当教授	Devin Leigh
授業内容	現代世界における諸問題について1週間ごとにテーマを決めて学びます。週に1回ディスカッションのクラスがあり、6-8人の小さなグループに分かれてのディスカッションを行い、そして、クラス全体でのディスカッションも行います。この授業では日々課題が出るのでコツコツ取り組むことが大切です。
試験・課題等	Grading Participation 20% Map Quizzes 20% Response Papers 20% Reading Reflections 20% Final exam 20%
感想を自由記入	この授業では上記にある様に日々の取り組みが大切です。Readingは週にもよりますが、平均して50ページ程出ます。そしてただ読めばよいわけではなく、それに基づいたReflection Paperがあります。また、ディスカッションもreadingに基づいて行われます。そのため、readingをおろそかにすると成績に大きく、影響が出てしまいます。また、毎週行われるmap quizも一夜漬けでは対応できないと思います。このように書くと、このコースは厳しいように思えるかもしれませんが、とてもおススメのコースです。私はこのコースに一週間遅れて参加しました。ですが、毎日コツコツと取り組むことができれば、良い評価を得ることができます。また教授は生徒の名前をすぐに覚えてくれるのでとてもスムーズに授業は進みます。また、課題のフィードバックも丁寧でとても参考になりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Negotiation and Conflict Resoution	交渉と対立の解決
科目設置学部・研究科	Haas school of business
履修期間	session D
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	In person(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が3回
担当教授	Timothy Dayonot
授業内容	Negotiation をどのように進めていくのかということ学びます。Interest や Alternative plan を具体的に考えるなど、交渉のやり方を細かく学んでいきます。また、ほぼ毎回の授業でクラスの人と実際に交渉を行います。交渉のテーマは壊れた車を売ることや Game Theory を用いた集団での交渉、email negotiation など多くの種類があります。そして、最後には Mediation のやり方なども学びます。せ
試験・課題等	Grading Class perticioation 15% Prep-sheet 15% (大きな交渉の前には事前課題として提出が求められます。) Reflection sheet 15% (自分が行った交渉を振り返る課題が出されます。) Midtern exam 25% (穴埋め、True or Fales, 説明問題などが出されます。) Written take hoem Final 30% (4-6 頁の Prep Sheet に近い、課題です。)
感想を自由記入	この授業は個人的に一番面白かった授業です。毎回、実際に交渉を行うのでとても実践的であり、多くの人と関わることができました。また、先生も良い人で質問をした際には、詳しく質問に答えてくれました。課題が出る頻度はそこまで多くはないと思いますが、1回の課題が重い場合があるので、計画的に進めることが大切であると思いました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
The Berkeley Experience	
科目設置学部・研究科	
履修期間	session E
単位数	1
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	In person(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に149分が2回
担当教授	Jennifer Buroin
授業内容	Berkeley を始めとする、San Francisco などがどのような土地であり、歴史があるのかを学びます。授業で Oakland や Sun Francisco などに行きました。そして、最終回の授業ではグループごとに自分たちが行った San Francisco の建物や博物館について5分程度、プレゼンテーションをしました。
試験・課題等	なし
感想を自由記入	この授業は1単位の授業です。Summer Session は最低10単位を取らなくてはならないため、単位数を満たすために履修しました。授業内でいろいろな場所に行くことができ、面白かったです。

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

特になし

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

進学を希望するのではありません

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

なし

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

明治大学大学院(後期の院試を受験予定)

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

渡航前に自分の専攻したい学問を決めることはもちろん、教授を訪ねておくことをお勧めします。9月に行われる院試のためには6月などに研究計画や志望書を提出しなければなりません。私は留学先の勉強で手がいっぱいだったため、9月の院試を受けるのを諦めました。ですが、日本にいる間にできるだけ準備を進めておくことが大切だと思います。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例:語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	留学に行くことを決める
	10月～12月	申し込み手続き
留学/帰国年	1月～3月	院進の準備、英語学習
	4月～7月	出国・留学
	8月～9月	FORMTEXT 留学・帰国
	10月～12月	大学院への準備、試験



## 留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私が伝えたいことはとにかくやってみること、一歩踏み出してみることの大切さです。行ってみなくてはわからないこと、行ったからこそ得ることができるものが多くあると感じました。それは学問的なことだけでなく、交友関係の面など多くにわたります。UC バークレーに来る人は優秀な人ばかりで、短い期間ではありましたが、彼らと一緒に過ごせたことはとても貴重で他の大学では味わうことのできないものであったと感じています。

私は法学部に所属しています。法学部は他の学部と比べて、英語を使う機会や外国に行く、関わる機会が圧倒的に少ないです。そのため、留学を考える学生は少ないと思います。実際にアメリカではロースクールに行かなければ特定の法律の分野を勉強することは難しいです。ですが、いろいろな授業で法律を学ぶ上で基礎になることや考え方を学ぶことができ、今後の勉強に役立つと実際に受けて感じました。そのため、法学部の学生には留学にぜひチャレンジしてほしいです。考え方や価値観を大きく変えるチャンスに良いきっかけになると思います。

また、私は今現在もそうですが、自分の学力や英語力に十分な自信がありません。おそらく、留学に行こうか迷っている人の中には自分の力に自信がないから、ためらってしまっている人がいると思います。私がそのような人に言いたいことは繰り返しになりますが、そんなことは気にしないでチャレンジすることです。おそらくですが、自信がつくまで待っていたら、いつまでたっても行動に移りません。過信でもいいからチャレンジしてください。私は今回留学に行き、自分を少し過信をすることは悪いことだけではないと感じました。過信と自信は近いもので、自分に過信をして一歩踏み出した人が自信や良い経験を手にすることができるのではないかと私は思うようになりました。(私はまだ自信を勝ち取ることができてないのですが)私は 4 年生ですが、この留学に行つて得ることができたものが多くあり、とても有意義な時間を過ごすことができ、プラスの要素が多くあったと考えています。そのため、学年に囚われず、留学に行こうか迷っている人はチャレンジすることを強くお勧めします。